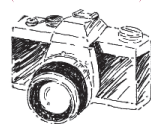


カメラだより

刈谷での出来事を写真付きで紹介します。



大河ドラマ「どうする家康」トークイベント

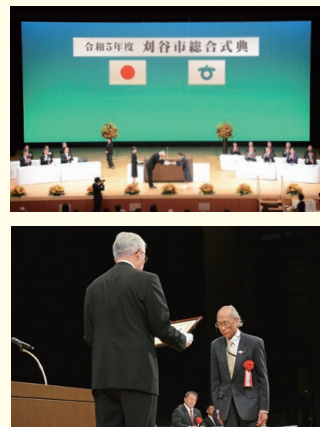
総合文化センター（5月21日）



水野家ゆかりのまち交流宣言10周年を記念し、大河ドラマ「どうする家康」の放送に伴い、水野宗家20代当主水野勝之氏の講演会と、水野信元役を演じる寺島進氏とドラマ制作統括の磯智明氏のトークショーを開催。撮影で苦労した点の質問に、寺島氏が「ないです！とにかく楽しいです！！」と答えて会場が笑いに包まれる一幕も。水野信元の墓がある楞厳寺を訪れた話やドラマの裏話などを楽しむことができました。

永年の功績に感謝

総合文化センター（5月24日）



令和5年度刈谷市総合式典が開かれました。式典では、永年にわたり地方自治、社会福祉、教育文化などに貢献された人、善行の児童・生徒の皆さんなど、193人、38団体が表彰されました。稲垣市長は「市民の皆さまが元気に、笑顔で、未来へ希望を持って安心して住み続けられるよう、本市の将来都市像であります『人が輝く 安心快適な産業文化都市』の実現に向けて、取り組んでまいります」と式辞を述べました。

身近な乗り物を知ってもらうために

刈谷ハイウェイオアシス（5月27日）



7月から法改正により新たな交通ルールが適用される電動キックボードの試乗会が開かれました。参加者はクイズに挑戦して電動キックボードの交通ルールを学んだ後、運転方法の簡単な説明を受けて、いざ試乗。乗る前は倒れないかなどと少し不安そうでしたが、試乗中には「快適で楽しい」などの声が聞こえ、笑顔で乗りこなしていました。

雨の中、火点に走る！

総合運動公園（6月11日）



市内21個分団の代表選手が火点を倒すまでの時間と動作の確実性を競い合った消防操法競技会。選手たちはぬかるんだ地面に足を取られながらも日頃の練習の成果を見せ、今大会では、第19分団（東境地区）が優勝を勝ち取りました。

また、10月に全国女性消防操法大会に出場する女性消防隊の操法披露もあり、大きな声援が送られました。